

③ 光秀と東大味

福井市東大味町には光秀を祀る明智神社、通称「あけつつあま」があります。この小さな祠は、明治19年(1886)光秀の座像を長く守り伝えてきた3軒の農家の発願によって建てられたものです。

3軒が所在する土地の小字名は「土居内」といい、土居=土塁を築いた屋敷がこの地にあったことをうかがわせます。

貞享2年(1685)福井藩では国絵図作成のため、越前国内の城跡等の所在を調査しましたが、その時の記録には(東)大味村には中島但馬守の屋敷跡だけが載っています。享保5年(1720)により詳細な調査を行った結果、東大味村には明智日向守(光秀)の屋敷跡があることが新たに把握されました。



明智神社(福井市東大味町)